

セイド・トランスアフト有限責任会社・2003年10月15日付確認書

KamAZ-55111A： エンジン・燃料噴射ポンプ・ハブを 分解不要で再生

セイド・トランスアフト有限責任会社（ムルマンスク）・承認：社長R.S.クズネツォフ・機械設備保全責任者
P.V.バルフチン・処理実施：アルクティク・アフト有限責任会社（社長I.V.パヴロフ）
ムルマンスク（ロシア）・2003年10月15日付確認書

製品

XADOゲル状リバイタリザ
ント（摩擦面再生剤）
ディーゼルエンジン用・燃料噴射
装置用・軸受用XADOリバイタリ
ザント配合グリース

処理対象

KamAZ-55111Aダンプトラッ
ク
登録番号E 924 VR 51・エンジン、
燃料噴射ポンプ、ハブ軸受

文書の種類

2003年10月15日付確認書
署名・押印あり

機械類

処理開始時点の使用状況

処理部位

KamAZ-55111Aダンプトラッ
ク、
登録番号E 924 VR 51

1999年製、確認書作成時点で稼働4年

エンジン、燃料噴射装置（燃料噴射ポ
ンプ）、ハブ軸受

試験台ではなく通常運用中の車両であり、処理は車両上で実施した。

主要結果

↑ **2.5×**

エンジンの潤滑油圧力、2.2 → 5.5 kgf/cm²

処理した各部位の変化

部位	処理前	処理後
エンジン	潤滑油圧力 2.2 kgf/cm² 、寿命延長が必要	潤滑油圧力 5.5 kgf/cm² 、振動の低減、駆動力・加速性能の向上、始動性の向上、黒煙濃度の低下
燃料噴射装置（燃料噴射ポンプ）	装置の作動状態および燃料消費量に関する不満	燃料噴射ポンプの作動状態の改善
ハブ軸受	ころ（外側・内側）の欠けおよび引っかき傷	欠けおよび引っかき傷の解消

エンジンおよび燃料噴射ポンプはXADOゲル状リバイタリザントで、ハブ軸受はXADOリバイタリザント配合グリースで処理した。いずれの部位も分解せずに処理した。

委員会の確認事項

セイド・トランスアフト有限責任会社の委員会は、機械設備保全責任者およびアルクティク・アフト有限責任会社の代表者の参加のもと、XADOゲル状リバイタリザントによる各機器の処理後、以下を確認した。1. 燃料噴射装置：燃料噴射ポンプの作動状態が改善した。2. エンジン：振動が低減し、駆動力および加速性能が向上し、潤滑油圧力が**5.5 kgf/cm²**まで上昇した。3. エンジンの始動性が向上し、黒煙濃度が低下した。4. ハブ軸受のころ（外側・内側）の欠けおよび引っかき傷が解消した。処理を決定した時点で、当該車両の潤滑油圧力は**2.2 kgf/cm²**であり、軸受のころの不具合もすでに確認されていた。各部位は分解せずに、運用を続けたまま再生された。

XADO

© XADO. 無断複写・転載を禁ず。
本結果はKamAZ-55111Aダンプトラックのディーゼルエンジン、燃料噴射装置およびハブ軸受に関するものであり、他の機械類および他の使用条件では測定値が異なる場合がある。処理はアルクティク・アフト有限責任会社（ムルマンスク）が実施した。署名・押印のある確認書の原本は全文が公開されており、ダウンロードできる。